旭ヶ丘キリストの教会
主日礼拝順序
２０２１年８月２９日

司会：千田俊昭
奏楽：千田祥子

黙　　祷		一　同
讃　　美※	聖歌607「御霊は天より」	一　同
主の祈り※	（聖歌表扉または讃美歌564番をご覧ください）	
讃　　美	聖歌478「世人の咎のために」	一　同
教会学校		
讃　　美	聖歌634「山ゆくも海ゆくも」	一　同
聖書朗読	黙示録11:15-19	
奨　　励	黙示録の福音(第17回)	牧　師
主　　題	「天国なんてどこにもない？」	
讃　　美	聖歌748「まもなく彼方の」	一　同
献　　金	献金と感謝の祈り	
聖　　餐		
頌　　栄※	聖歌378「栄あれや」	一　同
祝　　祷※		牧　師
来週の箇所	エズラ記第８章	

※印のところでは御起立下さい。

☆　はじめて集会においでの皆様。心から喜び、感謝してお迎え申しあげます。しかし、初めての方に無理な勧誘をするようなことは、一切いたしません。むしろ、そっとしておきたいと思うわけです。その態度を冷淡や不親切と誤解なさらないで下さい。
☆　私たちは何派にも属さないクリスチャン個人の自由な交わりの教会です。聖書を学び、キリストに信頼し、キリストが与えてくださる神の義を何より大事にし、信じる者同志が兄弟姉妹として受け入れ合う群れです。
☆　献金は神への感謝として、各自が自由意志で行うものです（２ｺﾘﾝﾄ9:7）。入り口に献金箱がありますので、どうぞご利用下さい。
☆　キリスト教について、あるいはどんな質問でも、いつでも遠慮なく牧師にご相談下さい。
☆　第二礼拝後、軽食を用意してありますので、お時間のある方はどなたでも、ご自由にお召し上がり下さい。
☆　二階に教会図書がありますので、どうぞご利用下さい。

旭ヶ丘キリストの教会　ニュース

《今週の歩み》
８/29(日)聖日礼拝
　/30(月)
　/31(火)
９/１(水)
　/２(木)10:00聖研
　/３(金)
　/４(土)(子供ｵｰﾌﾟﾝ･ﾊｳｽは9/12までお休みします)

《祈りの課題》
①コロナ禍の速やかな終息のために
②礼拝に来れなかった人々のために
③教会学校の子供たちも救われますように

良書ハイライト

「イエスはどこにいるんだ？」

関野和寛「天国なんてどこにもないよ」(教文館,2021)より

救い主イエスは人々から蔑まれ、見下されるような存在であるとイザヤは預言していた(イザヤ53:2-5)。地上にやって来たイエスは担ぎ上げられたあと、引きずり下ろされ、惨めな晒し者のように殺された。この聖書が語るイエスの姿を歪めているのが、歴史を通して私たちに刷り込まれた虚像のイエスだ。まずイエスは金髪で青い目の西欧人ではない。イエスはユダヤ人、地理学的に言えばアジア人だ。イカしたロン毛でも細マッチョなイケメンでもなかったはずだ。イエスは大工の家で育った。自らも炎天下のなか肉体労働を続けた身体、日焼けした顔、黒色の目と髪、人々が思い描くようなルックスでは決してなかったのだ。一言で言えば土方のおっちゃんだ。

さあ壊れたか、イエスのイメージが！勇気をもって今までに刷り込まれたイエスの虚像を捨てよう。だから、ここに気がつかなければ、何十年教会に通おうが、どんなに聖書を研究しようが、ナザレの大工出身のイエスに出会えない。そして私たち自身のカッコつけたメッキが剥がれる時、病気になる時、弱くなる時、バカにされる時、私たちはこの本物のイエスに出会えるのだ。

人は強烈な光など見上げ続けられない。人は下を見ていたほうが安心する。そのような悲しさと人の哀れさを知っている神は、イエスを憐れみの極み、底辺に送った。イエスは馬小屋のような場所でホームレスのように生まれた。そしてすぐに命を狙われ、エジプトに亡命したイエスは難民でもあった。現実を見れば明らかなように、神もイエスもこの世界を救えない、変えることもできない。戦争だってなくならないし、社会構造もちっともよくなりはしない。だが神は誰かの中に宿っている。ホームレスのように生まれ、難民にさえなったイエスは、今日もその様な人々と共に苦しんでいる。その様な人々の中にこそ神はいる。

大工出身の庶民であるイエスが、布教の旅で出会い愛したのは、病人、税金取りや娼婦、社会的に軽蔑されている人々だった。まさに私が新大久保の教会、歌舞伎町の裏で出会った人、依存症の人、風俗店で働くような人々だ。一見社会から軽蔑されるような人々、でも皆ピュアだった。誰よりも神を求めていた。そして彼らの中にいるイエスが、私を何度も救ってくれた。

イエスは輝かしい天国などにはいない。遥か彼方、雲の上の天国からこの滅茶苦茶な世界を見下ろしている神なら、私は絶対に信じない。けれども、イエスは降りてくる。大切な人々に裏切られ十字架刑で命を奪われた。私はそのようなイエスの姿に神を見る。